

図表1 完成したA社の所見欄（一部）

・当社は歯科インプラント治療に使用する人工歯根のスクリューなど、高難度の精密加工技術を持つ。さらに、鉄より硬く難削材といわれるチタンなど特殊な金属を、企業が要求する品質レベルで表現できる、国内でも希少な加工業者である。近年、各産業分野でチタンなどの新素材の需要が高まっているが、受注できる企業が少なく、成長が期待できる企業である。

・課題である技術の伝承に係る人材育成は、QC活動や技能競技会の実施など、継続的な品質向上活動を通じ順調に進んでいる。

・本件により生産体制の充実が図られ、収益増加効果が十分期待できる投資となるため、積極的に支援したい。

図表2 製品別受注一覧表

受注明細 No.	製品コード	製品名	加工単価	数量	受注金額	納期	納入日
220101	Ti3001201	〇〇用プレート	¥18,000	50	¥900,000	2022/10/17	2022/10/17
220102	SU200311	△△機部品	¥60,000	10	¥600,000	2022/10/20	2022/10/20
220103	Ti3001220	人工●●	¥9,000	150	¥1,350,000	2022/10/25	

「Z社から受注していた歯科インプラント材の歯根部分にあたるスクリュー（ネジ）の試作が成功し、量産体制に入る予定。しかし他製品も受注が増加となり、機械のやりくりが苦勞している。製品ごとの製造方法に見合う機械を使

えで、融資稟議に盛り込むことが大事だ。

「Z社から受注していた歯科インプラント材の歯根部分にあたるスクリュー（ネジ）の試作が成功し、量産体制に入る予定。しかし他製品も受注が増加となり、機械のやりくりが苦勞している。製品ごとの製造方法に見合う機械を使

えで、融資稟議に盛り込むことが大事だ。

「Z社から受注していた歯科インプラント材の歯根部分にあたるスクリュー（ネジ）の試作が成功し、量産体制に入る予定。しかし他製品も受注が増加となり、機械のやりくりが苦勞している。製品ごとの製造方法に見合う機械を使

えで、融資稟議に盛り込むことが大事だ。

「Z社から受注していた歯科インプラント材の歯根部分にあたるスクリュー（ネジ）の試作が成功し、量産体制に入る予定。しかし他製品も受注が増加となり、機械のやりくりが苦勞している。製品ごとの製造方法に見合う機械を使

伝えるべき情報を絞って記載しよう

以上を踏まえ、担当者は再度社長にヒアリングを実施。

結果を所見欄に反映させたとこころ、決裁となった。完成した所見欄（図表1）のポイントを見てみよう。

い。所見欄では、「歯科インプラント治療に使う…」などと、精密加工をイメージできるように表現した。

に融資稟議に落とし込むべきか悩んでしまった。

設備投資の有効性を平易な表現でわかりやすく伝えるポイントには、要点を明確かつ簡潔にすること、記載する情報は絞ること、専門用語はなるべく使用しないことだ。一般技術との違いや読み手がイメージできる身近な具体例（製

事例で理解！

このような案件の融資稟議はこう作成しよう



簡潔さ・客観性・納得性といったポイントを踏まえ、案件ごとの稟議作成ノウハウを解説する。

事例1

専門技術を扱う製造業A社からの設備投資の申込み  
専門用語は使わずに具体例を  
例示することで強みを明記

八木利樹

静岡信用保証代表取締役

A社はステンレスやチタンなどの非鉄金属を切削加工する製造業である。主に、医療器具や医療資材などの精密品を加工している。

今回、A社よりNC切削機（コンピュータによる数値制御で自動運転を行う機械）の購入資金の申込みがあった。社長の説明はこうだ。

用しないと生産性が落ち、採算割れする製品が出てくる。生産体制を最適化して収益を確保するには、NC切削機の増設が必要だと判断した」

一般的に、金属類加工業は収入が加工賃（技術料）であり、原材料仕入が伴う製造業と比べて売上規模が小さい。一方で機械や工場などの設備投資金額が大きく、売上に對して借入れが大きくなりがちだ。また技術屋気質の経営者は、設備に糸目を付けないと言われることもある。

担当者が新規の設備投資案件を進めるときは、その必要性や効果を慎重に検討したう

すると社長は「受注している製品は当社の技術でなければ、要求されている加工精度が実現できない。直径3・2mmのチタンに0・8mmのスレッドを刻むためには…」と徐々に熱が入り、話が専門的な領域に及んだ。担当者は、設備投資の必要性をどのよう